



令和3年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

令和2年7月31日

上場会社名 株式会社 松屋フーズホールディングス

上場取引所 東

コード番号 9887 URL <https://www.matsuyafoods-holdings.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 瓦葺 一利

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 丹沢 紀一郎

TEL 0422-38-1121

四半期報告書提出予定日 令和2年8月7日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 令和3年3月期第1四半期の連結業績(令和2年4月1日～令和2年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
3年3月期第1四半期	21,150	17.2	2,604		2,549		1,829	
2年3月期第1四半期	25,542	8.2	1,269	67.3	1,299	62.6	669	50.8

(注) 包括利益 3年3月期第1四半期 1,830百万円 (%) 2年3月期第1四半期 670百万円 (53.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期 純利益
	円銭	円銭
3年3月期第1四半期	96.02	
2年3月期第1四半期	35.12	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
3年3月期第1四半期	75,680	40,894	54.0	2,145.98
2年3月期	73,173	42,953	58.7	2,254.01

(参考) 自己資本 3年3月期第1四半期 40,894百万円 2年3月期 42,953百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
2年3月期		12.00		12.00	24.00
3年3月期					
3年3月期(予想)		12.00		12.00	24.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 令和3年3月期の連結業績予想(令和2年4月1日～令和3年3月31日)

新型コロナウイルス感染症の収束時期によって、業績に与える影響が大きく変動するため、業績予想の算出を現時点で見通すことが困難であると判断し、令和3年3月期の業績予想は未定とさせていただきます。なお、業績への影響が予想可能となった時点で、速やかに公表いたします。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 0 社 (社名) 、 除外 0 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	3年3月期1Q	19,063,968 株	2年3月期	19,063,968 株
期末自己株式数	3年3月期1Q	7,674 株	2年3月期	7,724 株
期中平均株式数(四半期累計)	3年3月期1Q	19,056,279 株	2年3月期1Q	19,056,277 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料のP3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
3. その他	8
継続企業の前提に関する重要事象等	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大、緊急事態宣言による活動自粛等の一連の影響により経済環境は急速に悪化いたしました。緊急事態宣言の解除後、経済活動の回復の兆しがみえ始めたものの、依然として先行きは不透明な状況にあります。

外食業界におきましては、経済活動の自粛影響に加え、行政からの営業自粛要請等、経営環境は一層厳しさを増しております。

このような環境の中で、当社グループは、新型コロナウイルス対策本部を設置し、「各店舗へのアルコールの設置」「従業員の健康チェックと手洗いの徹底」「店内消毒の徹底」「マスクの着用」「換気システムによる店内の換気を常時実施」等の取組みを全国の店舗で実施し、食のインフラとしての責務を果たすべく、以下のような諸施策を推進し、業容の拡大と充実に取り組んでまいりました。

新規出店につきましては、牛めし業態6店舗、とんかつ業態1店舗、その他業態3店舗の合計10店舗を出店いたしました。一方で、直営の牛めし業態店4店舗、とんかつ業態2店舗の合計6店舗につきましては撤退いたしました。したがって、当第1四半期連結会計期間末の店舗数はFC店を含め、1,211店舗（うちFC6店舗、海外14店舗）となりました。この業態別内訳としては、牛めし業態965店舗、とんかつ業態198店舗、鮎業態11店舗、その他の業態37店舗となっております。

新規出店を除く設備投資につきましては、34店舗の改装（全面改装2店舗、一部改装32店舗）を実施した他、工場生産設備などに投資を行ってまいりました。

商品販売及び販売促進策につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大によるお持ち帰り・キャッシュレス決済のニーズの高まりにあわせ、お弁当WEB予約サイト「松弁ネット」での20%還元キャンペーンやUber Eats・出前館送料無料キャンペーン、PayPay支払20%還元キャンペーン等を開催いたしました。

これらの取り組みの結果、当第1四半期連結累計期間の連結ベースの業績は次のとおりとなりました。

まず、売上高につきましては、新型コロナウイルス感染症の拡大等の影響を受けたことにより、前年同期比17.2%減の211億50百万円となりました。

売上高の減少により、固定費の占める割合が上昇したこと等により、売上原価につきましては、原価率が前年同期の32.6%から35.1%、販売費及び一般管理費につきましては、売上高に対する比率が前年同期の62.4%から77.2%となりました。なお、当社において重視すべき指標と認識しているFLコスト（売上原価と人件費の合計。FOODとLABORに係るコスト）の売上高比は、前年同期の66.6%から73.9%へと上昇いたしました。

以上の結果、営業損失は26億4百万円（前年同期は営業利益12億69百万円）、経常損失は25億49百万円（前年同期は経常利益12億99百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は18億29百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益6億69百万円）となりました。

なお、当社グループにおいては、飲食事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は756億80百万円となり、前連結会計年度末に比べ25億7百万円増加いたしました。このうち、流動資産は217億89百万円となり、受取手形及び売掛金、商品及び製品の減少があった一方、現金及び預金が29億86百万円増加した等によって、前連結会計年度末に比べ10億62百万円増加いたしました。また、固定資産は538億90百万円となり、長期繰延税金資産の増加、新規出店や改装実施、工場生産設備などへの投資による有形固定資産の増加等によって、前連結会計年度末に比べ14億45百万円増加いたしました。

当第1四半期連結会計期間末における負債は347億86百万円となり、未払法人税等、未払金、賞与の支払いによる減少があった一方、借入金の増加等によって前連結会計年度末に比べ45億66百万円増加いたしました。

当第1四半期連結会計期間末における純資産は408億94百万円となり、利益剰余金の減少等により前連結会計年度末に比べ20億58百万円減少となりました。自己資本比率は前連結会計年度末の58.7%から54.0%となっております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

新型コロナウイルス感染症は現在も感染拡大が続いており、当社へ影響を及ぼしております。

現在、全ての店舗が営業再開となりましたが、外出を控える状況は現在も続いており、依然として今後の先行きは不透明な状況にあります。

この感染症の収束時期によって、業績に与える影響が大きく変動するため、適正かつ合理的な業績予想の算出が現時点で見通すことが困難であると判断いたしました。したがって、令和3年3月期の業績予想は未定とさせていただきます、業績への影響が合理的に予想可能となった時点で、速やかに公表いたします。

そのような中で当社グループでは、全国の店舗で引き続き新型コロナウイルス感染回避のための取組みを一層強化し、食のインフラの責務を果たすべく、努力してまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (令和2年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (令和2年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,743,917	14,730,647
受取手形及び売掛金	2,190,912	1,496,354
商品及び製品	651,501	587,079
原材料及び貯蔵品	3,723,945	3,860,500
その他	2,417,590	1,115,293
流動資産合計	20,727,867	21,789,875
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	17,936,182	21,097,315
機械装置及び運搬具(純額)	1,959,668	3,052,560
工具、器具及び備品(純額)	2,228,469	2,481,300
リース資産(純額)	835,033	754,084
土地	9,341,954	9,341,954
建設仮勘定	3,948,174	115,105
有形固定資産合計	36,249,483	36,842,321
無形固定資産		
ソフトウェア	221,877	348,788
その他	183,216	52,433
無形固定資産合計	405,094	401,222
投資その他の資産		
投資有価証券	71,994	72,167
敷金及び保証金	12,349,260	12,270,702
長期前払費用	434,551	435,323
店舗賃借仮勘定	223,864	245,787
繰延税金資産	1,713,211	2,635,729
投資不動産(純額)	194,987	193,322
その他	812,647	804,087
貸倒引当金	△9,734	△9,696
投資その他の資産合計	15,790,782	16,647,424
固定資産合計	52,445,360	53,890,967
資産合計	73,173,228	75,680,842

（単位：千円）

	前連結会計年度 (令和2年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (令和2年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,195,727	1,781,629
短期借入金	86,552	4,185,975
1年内返済予定の長期借入金	2,276,884	2,911,832
未払金	5,795,497	4,237,212
リース債務	420,290	351,633
未払法人税等	1,535,794	223,821
賞与引当金	984,427	571,372
役員賞与引当金	—	229
その他	3,472,693	1,082,396
流動負債合計	16,767,867	15,346,103
固定負債		
長期借入金	10,628,816	16,624,647
役員退職慰労引当金	567,800	567,800
リース債務	482,950	465,123
資産除去債務	1,602,225	1,623,311
繰延税金負債	3,948	3,948
その他	166,595	155,536
固定負債合計	13,452,336	19,440,366
負債合計	30,220,203	34,786,469
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,655,932	6,655,932
資本剰余金	6,963,144	6,963,229
利益剰余金	29,418,516	27,360,063
自己株式	△16,461	△16,355
株主資本合計	43,021,131	40,962,869
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	832	952
為替換算調整勘定	△68,939	△69,449
その他の包括利益累計額合計	△68,107	△68,496
純資産合計	42,953,024	40,894,372
負債純資産合計	73,173,228	75,680,842

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（第1四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第1四半期連結累計期間 （自平成31年4月1日 至令和元年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自令和2年4月1日 至令和2年6月30日）
売上高	25,542,411	21,150,770
売上原価	8,336,687	7,421,541
売上総利益	17,205,724	13,729,228
販売費及び一般管理費	15,936,686	16,333,241
営業利益又は営業損失（△）	1,269,037	△2,604,013
営業外収益		
受取利息	5,523	4,697
受取配当金	1,575	1,575
受取賃貸料	55,845	50,210
その他	60,959	88,023
営業外収益合計	123,903	144,507
営業外費用		
支払利息	12,876	16,985
賃貸費用	55,503	50,746
その他	24,764	22,230
営業外費用合計	93,145	89,963
経常利益又は経常損失（△）	1,299,795	△2,549,468
特別利益		
固定資産売却益	59	17
受取保険金	2,164	—
受取補償金	—	10,000
特別利益合計	2,223	10,017
特別損失		
固定資産除却損	4,471	555
店舗閉鎖損失	—	5,393
固定資産売却損	216	331
減損損失	25,822	15,055
特別損失合計	30,510	21,335
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	1,271,508	△2,560,786
法人税、住民税及び事業税	333,928	191,562
法人税等調整額	268,324	△922,570
法人税等合計	602,253	△731,008
四半期純利益又は四半期純損失（△）	669,255	△1,829,778
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失（△）	669,255	△1,829,778

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成31年4月1日 至 令和元年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 令和2年4月1日 至 令和2年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	669,255	△1,829,778
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	59	119
為替換算調整勘定	1,344	△509
その他の包括利益合計	1,404	△389
四半期包括利益	670,659	△1,830,168
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	670,659	△1,830,168
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、令和2年6月29日開催の定時株主総会において、下記の配当に関する事項を決議し、配当金の支払をいたしました。この結果、当第1四半期会計期間において、利益剰余金が228,674千円減少しております。

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
令和2年6月29日 定時株主総会	普通株式	228,674	12	令和2年3月31日	令和2年6月30日	利益剰余金

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。